

各位

株式会社トップカルチャー  
 代表取締役社長 清水秀雄  
 (コード 7640 東証1部)

## トップカルチャー 2009年10月期 第1四半期連結業績

# 経常利益 前年同期比 120.4%

売上高	8,126 百万円	(前年同期比 102.7%)
経常利益	314 百万円	(前年同期比 120.4%)
四半期純利益	172 百万円	(前年同期比 112.4%)

当第1四半期は、蔦屋書店部門において既存店の売上高前年同期比は98.5%、全店で102.7%と堅調に推移いたしました。また、利益面では、収益力の強化として粗利率の改善に取り組んだことにより、**売上総利益率が前年同期比 2.0%増加、経常利益は前年同期比 120.4%の314百万円となり、増収増益を達成**いたしました。

### ● 既存店：書籍とレンタルが好調

主要部門のうち、**書籍が既存店前年同期比 101.9%(全店 105.3%)、レンタルが既存店前年同期比 101.8%(全店 107.2%)**と売上伸長し、業績に寄与いたしました。書籍は継続して提案性の高い売場作りに注力し、前期に引き続き好調を維持いたしました。レンタルは家で過ごすライフスタイルの増加に伴い、映像レンタルの貸出本数が大幅に増加したことにより前年を上回る結果となりました。

### ● エリアマネージャー制度を導入

当第1四半期より中期目標である「グループ 100 店舗体制」を見据え、ストアオペレーションの強化としてエリアマネージャー制度を導入いたしました。これは、経営レベルで個店別にきめ細かく指導・対応するものであります。店舗運営力の向上、商品提案力の向上および在庫の適正化等の様々な課題に取り組むことで店長の成長を図るとともに、売上と利益の最大化を図ってまいります。また、エリアマネージャーを通じてお客様の声や要望をいち早く幹部役員へ集約し経営に反映できるよう、機動性の高い体制作りに取り組んでまいりました。

### ● 経常利益 前年同期比 20.4%増益の主な要因

収益力強化としてレンタルの粗利率改善に取り組んだことが増益の主な要因となりました。具体的には全店舗の販促施策を見直したこと、売上に応じた仕入となるよう本部にて仕入コントロールを実施したことならびにオープン後3年を経過した店舗のレンタル初期在庫投資の償却負担分が減少したことが改善に繋がりました。これにより、**売上総利益率は前年同期比 2.0%増加し 31.0%**となり、経常利益は314百万円と前年同期比 20.4%増益となりました。

### ● 2009年10月期連結業績予想

当第1四半期の業績が計画通り推移していることから、2009年10月期連結業績予想は、売上高 30,301百万円(前年同期比 102.6%)、経常利益 820百万円(同 134.8%)、当期純利益 410百万円(同 118.7%)を見込んでおり、従来公表に変更はございません。

1. 連結業績の概要

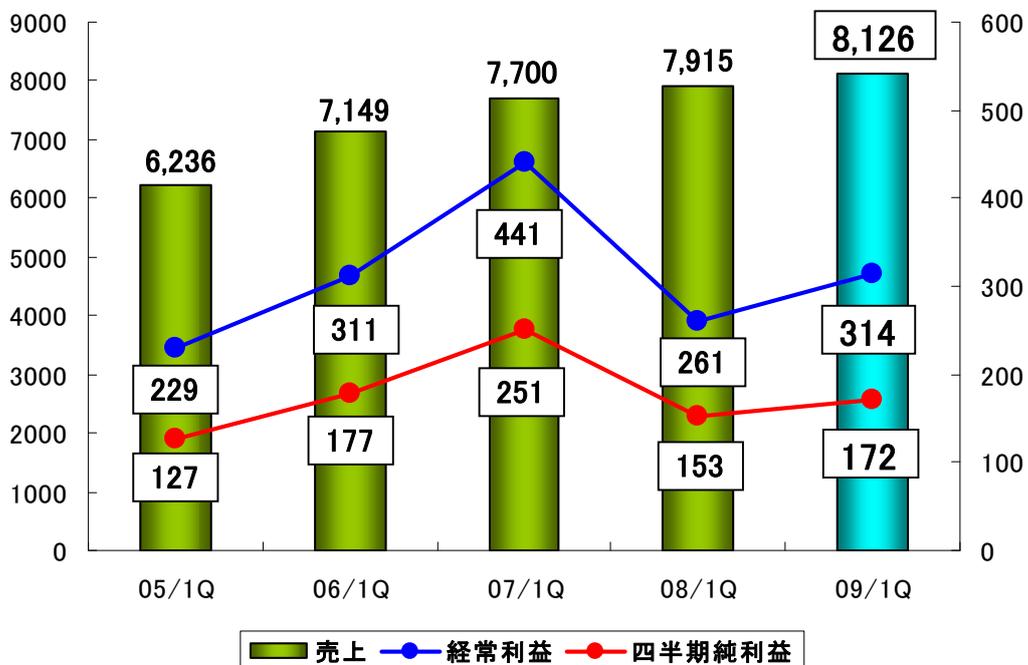
【連結サマリー】

(百万円)

	2008年10月期 第1四半期		2009年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	7,915	100.0	8,126	100.0	102.7
売上総利益	2,292	29.0	2,517	31.0	109.8
営業利益	261	3.3	290	3.6	111.1
経常利益	261	3.3	314	3.9	120.4
四半期純利益	153	1.9	172	2.1	112.4
EPS(円)	12.28		14.38		117.1

売上高(百万円)

経常利益  
当期純利益(百万円)



【単体サマリー】

(百万円)

	2008年10月期 第1四半期		2009年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	7,587	100.0	7,793	100.0	102.7
売上総利益	2,212	29.2	2,433	31.2	110.0
営業利益	248	3.3	274	3.5	110.7
経常利益	268	3.5	322	4.1	120.0
四半期純利益	150	2.0	183	2.4	121.5
EPS(円)	12.07		15.28		126.6

## 2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は前年度に引き続き好調に推移し、増収に寄与いたしました。
- ・ レンタルは映像レンタルの貸出本数が大幅に増加し、業績に貢献いたしました。
- ・ 販売用CD・DVDはタイトルパワーのある新譜・新作が不足したことにより、前年を下回る結果となりました。
- ・ 文具は定番商品の見直しによる在庫効率の強化に取り組んでおります。

(百万円)

	08年10月期 第1四半期	09年10月期 第1四半期			既存店
	金額	金額	増減額	前年比	前年比
<b>書籍</b>	3,014	3,174	159	105.3	<b>101.9</b>
<b>レンタル</b>	1,551	1,663	112	107.2	<b>101.8</b>
販売用CD	1,078	959	△119	88.9	85.6
販売用DVD	626	609	△16	97.4	94.2
文具	710	726	15	102.2	98.4
その他	605	660	54	109.0	
蔦屋書店計	7,587	7,793	206	102.7	98.5
トップブックス計	295	298	3	101.1	
グランセナ計	32	34	1	104.4	
合計[連結]	7,915	8,126	211	102.7	

## 3. 出店・増床の状況

・2008年11月1日(土)に蔦屋書店長野川中島店を大幅に増床(450坪⇒730坪)し、「蔦屋書店」  
「TSUTAYA」の2館となってオープンしました。

**グループ合計店舗数 67店舗 延床面積合計 31,087坪**

(1店当たり 平均 464坪)

【2009年10月期出店・増床計画】

	店名	場所	面積	開店日/増床日
出店	蔦屋書店 新店	神奈川県	420坪	2009/5(予定)
	蔦屋書店 新店	新潟県	800坪	2009/7(予定)
増床	蔦屋書店 長野川中島店	長野県	450坪⇒730坪	2008/11/1



■蔦屋書店長野川中島店 左は蔦屋書店館(書籍・文具取扱い)、右はTSUTAYA館(セルCD・DVD、レンタル取扱い)

#### 4. 2009年10月期の業績予想

- ・ 2009年10月期の出店は、2～4店(うち2店を計画折込済み)を予定しております。
- ・ 主要部門のうち、書籍とレンタルが引き続き好調に推移し、業績に寄与するものと見込んでおります。
- ・ 継続した原価率改善および在庫の適正化と効率運用により利益率向上を図ってまいります。

【連結】

(百万円)

	08年10月期		09年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	29,538	100.0	30,301	100.0	102.6
経常利益	608	2.1	820	2.7	134.8
当期純利益	345	1.2	410	1.4	118.7
EPS(円)	28.09		34.18		121.7

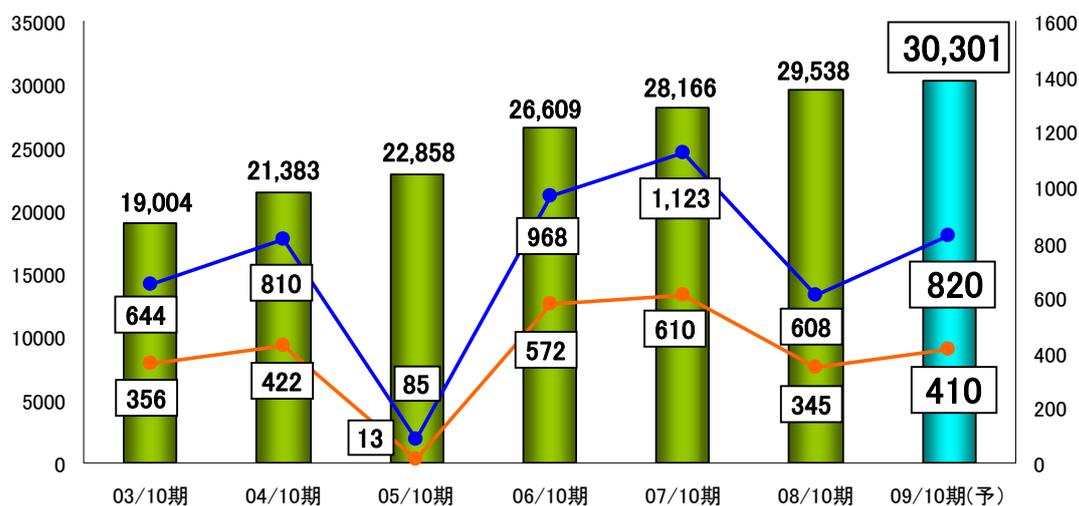
【単体】

(百万円)

	08年10月期		09年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	28,503	100.0	29,252	100.0	102.6
経常利益	639	2.2	846	2.9	132.3
当期純利益	352	1.2	439	1.5	124.6
EPS(円)	28.67		36.63		127.8

売上高(百万円)

経常利益  
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【この資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー

取締役副社長兼総務部長 宮原 務

TEL: 025(232)0008

<http://www.topculture.co.jp>